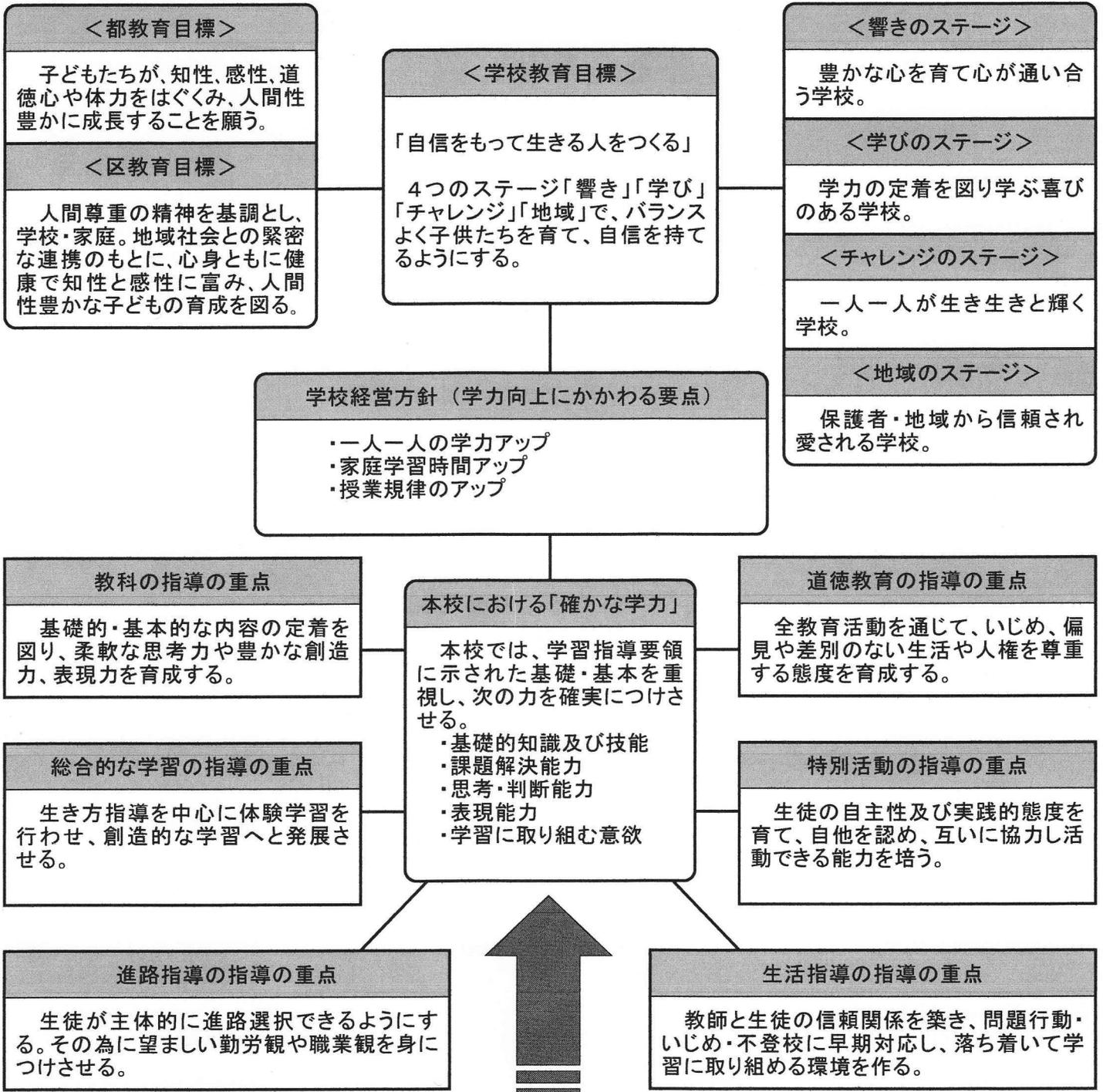


# 学力向上を図るための全体計画



## 本校の授業改善に向けた視点

指導内容 指導方法の工夫	教育課程 編成上の工夫	校内における研究や 研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との 連携の工夫
興味・関心を持たせるため、電子黒板・PC・eライブラリなど ICT を活用する。 支援員や TT 教員を活用し、授業態度の向上を図る。	定期考査前の補充教室や、長期休業中の補充教室を活用し、学びの継続性を重視した編成を行う。 定期考査を学習の意識付に活用し、年3回9教科で実施する。	小中連携教育で年4回分科会ごとに授業研究を行い、授業力向上を図る。 独自の学力調査を毎年実施し、指導法の改善、生徒の学習法の改善にいかす。	PC による成績一元管理を行い、評価の精度向上を図る。 保護者・学校評議員による教育活動の外部評価を取り入れ改善を行う。	家庭学習、1年1時間、2年2時間、3年3時間を目標に計画的に課題を出す。家庭学習支援システム eライブラリを活用する。 学習についての三者面談を実施する。